

第 26 回 猪名川自然環境委員会 議事要旨

1. 日 時 平成 29 年 2 月 10 日（金）15:00～17:00
2. 場 所 国土交通省 近畿地方整備局 大阪合同庁舎第 1 号館 第 1 別館 3 階 303 共用会議室
3. 出席者 委員：池淵委員、菅原委員、服部委員、村上委員、松井委員、森下委員（委員長）
猪名川河川事務所：山下所長、刈谷総括保全対策官
（工務課）中田課長、有村保全対策官、菅野係長、和泉係長
庶務：いであ株式会社 兵藤、佐中、石垣、養田、井上
4. 議 事
 - (1) 規約について
 - (2) 猪名川自然環境委員会の経緯及び主な論点の整理
 - (3) 河道掘削モニタリング調査結果
 - (4) 簡易魚道モニタリング調査結果
 - (5) 平成 28 年度工事箇所環境面からの評価
 - (6) 平成 29 年度の工事予定猪名川自然環境委員会の経緯及び主な論点の整理

5. 結 果

(1) 規約について

（委員の変更に関する規約の改定）

- 委員の変更に関する猪名川自然環境委員会規約（案）を提示した。規約第 8 条に基づき、規約の改定について、委員 8 名に対して 6 名（過半数）が出席し、出席者の全会一致により同意を得た。

(2) 猪名川自然環境委員会の経緯及び主な論点の整理

（猪名川自然環境の整備と保全）

- 猪名川は古い時代から貝類を多く利用してきた川であり、アユや貝類等のような産業にまつわる生物の回復をどのようにしていくのが重要である。

(3) 河道掘削モニタリング調査結果

（指標種）

- わんどの指標種として、イシガイ科の貝類を加えたことは良い。イシガイ科の生息環境は、不安定なわんどには出現せず、ある程度安定したわんどが必要である。
- 水陸移行帯の指標種をトンボ目に限定せずに、トンボ目以外の底生動物を加えたことは良い。

（河原性植物の取り扱い）

- 北河原地区（猪名川 6.0k～7.1k）でカワラナデシコが確認されたことについて、植栽起源と記載しているが自生している可能性もある。また、カワラナデシコが確認されなくなったとしても、今後一定の気候条件と河床条件があれば再び確認される可能性がある。そのため、カワラナデシコについて、今後は注目種として見ていけば良いのではないかと。

(河道掘削モニタリングの方向性)

- 現在の河道は、掘削後に変動している中途の段階であり、もう少しモニタリングを継続した上で評価を行った方が良い。評価をどの時点で行うかということが重要であり、ある程度年数を区切って評価すべきではないか。
- 工事前に存在したものに対して評価する手法もあるが、大きな思想として、猪名川らしい川（太平洋側の都市河川の特徴）に対して評価する必要がある。
- 今後のモニタリング調査計画については、構造検討部会で基本指針を検討した上で、モニタリング調査計画を再整理すること。

(4) 簡易魚道モニタリング調査結果

(資料公開に向けた修正)

- 本資料の公開にあたっては、第 18 回構造検討部会の結果が分かるように再整理した資料を公表すること。

(簡易魚道の評価)

- 魚道の評価は、基本的には、魚道の下流の蝸集と魚道の遡上の観点が必要な評価軸となるが、遡上の確認による直接的な評価は困難である。そのため、蝸集個体を観察し、それらがどのような個体であるかによって、遡上したかどうかを判断する方法が良いのではないか。
- 自然環境委員会では、猪名川河川事務所が実施する工事に関する評価について、一般の人にわかりやすく結果を示すことが重要であり、研究レベルの評価を行うこととは異なるので留意が必要である。

(5) 平成 28 年度工事箇所 の 環境面からの評価

(①戸ノ内地区掘削工事、②田能地区災害復旧工事)

- B 評価ではあるが本来は A 評価に近い A' とすべき箇所である。①戸ノ内地区掘削工事の評価では、「汽水域での環境保全」という文章を追加すること。②田能地区災害復旧工事では、最適案ではないが、妥協案として承認したものである。

(④中村地区堤防拡幅工事、⑤東園田地区堤防工事)

- 現地確認の結果を踏まえて評価したものであり、評価結果では B→C と記載すること。

(⑧樹木伐採)

- 現地確認では、坂路の設置によるわんどへの影響が考えられたが、坂路を設置することなく伐木を実施したので、評価結果では B→C と記載すること。

(評価結果に基づく対応)

- B 評価の対応については、委員による現地確認での指摘事項への対応を検討した上で工事を実施することとする。

(6) 平成 29 年度の工事予定

(工事予定箇所の現地確認)

- 環境配慮事項として示されている内容は調査時点が古い情報であるため、平成 29 年度の工事前に現地確認をさせて頂きたい。
- 桑津橋の上流にはカワラナデシコが植栽されているが、その 100m 程上流の高水敷に、オガルカ

ヤの群落を確認している。堤防法面や高水敷でも重要な植物が生育する可能性があるため、工事の実施にあたっては事前に現地を確認して欲しい。

(環境配慮事項)

- 環境配慮事項に関する指導・助言については、指導・助言を受けた時点（会の名称等）を明記するとともに、環境配慮を行う判断基準を示すこと。

以上